

1. 件名：東海再処理施設のガラス固化処理状況に係る面談
2. 日時：令和3年9月1日(水)13時30分～14時00分
3. 場所：原子力規制庁10階会議室 ※一部出席者はTV会議にて実施
4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部

審査グループ 研究炉等審査部門

北條主任技術研究調査官、加藤原子力規制専門員

検査グループ 核燃料施設等監視部門

宮坂原子力運転検査官

長官官房 事故対処室

梶田専門官

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構

安全・核セキュリティ統括部 安全・核セキュリティ推進室 マネージャー 他1名

再処理廃止措置技術開発センター 廃止措置推進室長 他3名

5. 要旨

○国立研究開発法人日本原子力研究開発機構（以下「原子力機構」という。）から、東海再処理施設のガラス固化体の製造に当たって、熔融炉からガラスが流下した後の下流側の工程において発生した事象について、配付資料に基づき説明があった。

○原子力規制庁より、以下の通りコメントを伝えた。

- ・本件は、いずれも安全上の問題ではなく、ガラス固化体の製造支障に係る問題と考える。
- ・ガラス固化体の安定的な製造の観点から、これらの事象の原因調査結果を踏まえ、ガラス固化処理運転開始時の設備の点検方法について再度確認するとともに、必要に応じて設備面での対策を検討すること。

○原子力機構より、了承した旨返答があった。

6. 配付資料

資料1：ガラス固化技術開発施設（TVF）における除染装置（高圧水ポンプ）の停止事象に対する調査結果について

資料2：ガラス固化技術開発施設（TVF）における溶接機の停止の調査結果について